

ほんごう



札幌市立本郷小学校
学校だより
令和8年3月25日

学校HP

帰宅時刻(11~3月)→16:30

一人一人の思いが創った「あったか本郷」

校長 福岡 翼

通学路の雪も日ごとに少なくなり、穏やかな春の訪れを感じる季節となりました。教室に差し込む柔らかな光が、子どもたちの成長を祝福してくれているようです。本日、令和7年度の教育活動がすべて終了いたしました。この一年間、本校を温かく支えてくださいました保護者・地域の皆様に、心より深く感謝申し上げます。

今年度、本郷小学校は「みんなでつなぐあったか本郷」を重点に掲げ、教職員一同で子どもたちの思いや願いを受けとめながら、自ら考え行動する力と、多様な人々を認め合う心の育成に努めてまいりました。この一年、校内の至る所で子どもたちの素敵な姿に出会いました。算数で粘り強く図や式をかき、自力で解決しようとする姿。国語で友達の意見に耳を傾け、「自分で気付けなかった考えに触れられた。」と語る姿。転んだ一年生に「大丈夫?」と駆け寄る優しい姿。スキー山で友達と一緒に歓声をあげて滑る喜びあふれる姿…。子どもたちが自分らしさを大切にしながら力を発揮できること、他者に対して思いやりをもって一緒に行動できること。この一人一人の思いや行動の積み重ねが、今の「あったか本郷」を創り上げていると感じています。

ジャーナリストの池上彰さんは、これからの時代を生き抜く力について「自分とは違う立場の人がどう感じるかを想像する力こそが、人間らしさの源になる」という趣旨のことを述べています。自分の得た知識を「誰のために、どう使うか」を判断する感性、そして他者へ思いを馳せる想像力こそが、未来を切り拓く鍵になると思っています。本郷小学校の子どもたちなら、これからも、しなやかに、そして、力強く仲間とともに歩いていけると確信しています。

私事で恐縮ですが、この度の人事異動により、本郷小学校を離れることとなりました。振り返れば4年間、元気いっぱいの子供たち、そして学校を支えてくださる皆様に囲まれ、充実した毎日をご過ごすことができました。皆様と過ごした日々は、私にとって生涯忘れることのできない、かけがえのない財産です。本郷小学校のさらなる発展と、子どもたちが自分らしい「感性」と「想像力」の翼を広げ、未来へ大きく羽ばたいていくことを心より願い、お別れの言葉といたします。4年間、本当にありがとうございました。